

大蔵海岸西地区 自然観察ゾーン及び（仮称）自然観察センターの設置について

1. 設置の目的

大蔵海岸西地区は磯浜や休憩所などを備え、また、眼前には明石海峡大橋や淡路島を見晴らせる素晴らしいロケーションを有しており、毎日多くの方が散策を楽しまれております。しかし反面、散策以外の利用に乏しく、自然観察を目的に整備した人工干潟の磯浜やミニステージを備える中央休憩所等が十分に活用されておらず、西地区全体の利用の活性化が懸案となっております。

そこで、大蔵海岸西地区のポテンシャルを生かし、磯浜や中央休憩所を活用した自然観察ゾーン及び（仮称）自然観察センターを設置し、子供達が生き物とのふれあいを通して自然や命の大切さを学び、笑顔で元気に過ごせる空間づくりを進め、利用の活性化につなげたいと考えております。

2. 自然観察ゾーン及び（仮称）自然観察センターの概要について

〔設置場所〕（1）自然観察ゾーン：磯浜周辺（水域を含む）

（2）（仮称）自然観察センター：中央休憩所を活用

〔運営者〕大蔵海岸施設指定管理者（神戸新聞事業社・兵庫県サッカー協会共同事業体）

〔予算額〕令和3年度 3,000千円

〔自然観察ゾーン（磯浜周辺）の概要〕

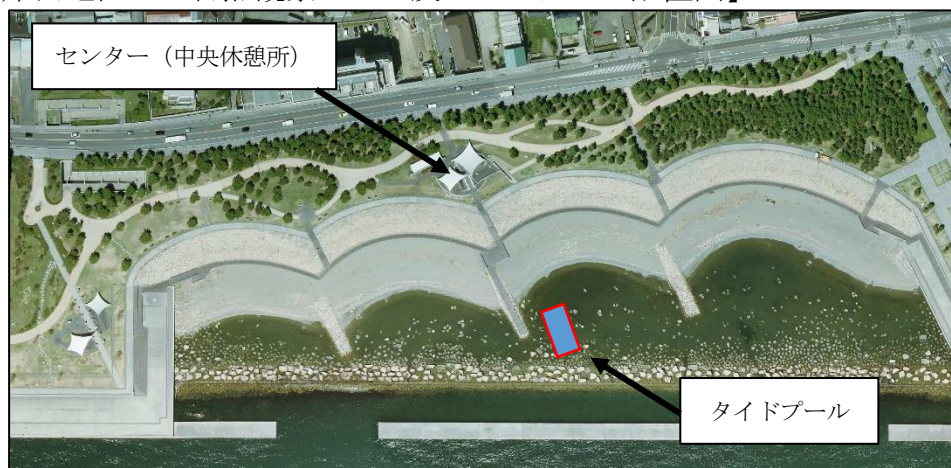
○ 水生生物をはじめ海浜植物など、季節によってさまざまな生き物を観察することができます。

○ 磯浜に、新たに箱型のタイドプール（潮の干満を利用した人工の潮だまり）を設置し、その中に砂や石を配置することで、多様な生き物を観察できるようにします。

※タイドプールの概要（予定）

- ・大きさ南北方向5m 東西3m 約15㎡、深さ35センチ程度
- ・来年度のタイドプールは試験的な設置とし、生物の生育環境、海水の循環、波による砂の流出状況などを観察し、改良を重ねたうえで規模を拡大していく予定です。

【大蔵海岸西地区 自然観察ゾーン及びセンター 配置図】



〔自然観察センターの概要〕

(1) 運営開始日（予定）

- 令和3年4月29日（祝木）のゴールデンウィークから。
- 運営日は「土日祝日」を基本とします。

春休み・夏休み期間中は運営日を増やす予定です。平日及び冬季の運営は、利用状況等を見て今後検討していきます。

(2) 業務の内容

- ガイドを配置し、バケツ、網、箱メガネ、ライフジャケットなど観察資材を無料で貸し出します。
- 図鑑や机等を設置し、子供たちが見たり捕まえたりした生き物をその場で調べることができるようにします。
- ガイドが安全な観察方法や資材の使い方をアドバイスするとともに、調べものをお手伝いします。水族館等との連携も予定しています。

(3) その他

利用上のルール、安全対策をはじめ、自然観察センターの運営方法、観察資材の種類など、利用状況を見ながら適宜変更・追加していきます。

【自然観察センター 現在の中央休憩所の様子】

